



中高生に聞きました！

田原本の「今」と「これから」

\\ 私たちが答えます！ //

連続インタビュー 第5回 合併70周年を迎えて



磯城野高等学校 3年
中嶋 裕之さん

今学年から農業クラブの活動で模擬株式会社 直売所しきの彩(いろどり)の社長を務め、売り場管理などで活躍中。田原本町住民協議会に学校代表で参加し、全ての会議に出席する律儀な性格。魅力的な「ええ声」の持ち主で、将来の夢は声優。



高等養護学校
生徒会の皆さん

上段左から
久米 虎雅さん (2年)
喜多 真央さん (3年)
奥村 悠矢さん (3年)
下段左から
阪中 平良さん (3年)
初田 宇希さん (3年)
久保 愛虎さん (2年)
松本 裕真さん (氏名のみ)
選挙では公約を掲げ、仲間から託された一票を胸に、力強く学校を動かす生徒会のメンバー。



田原本中学校 3年
南谷 あやのさん

合唱コンクールや体育祭、コントラバスを担当する吹奏楽のコンサートを目前に控え、中学校生活最後の夏を駆け抜ける姿は、まぶしい笑顔とともにキラキラと輝いてみえた。看護師のお姉さんに憧れ、将来は臨床検査技師を目指している。



北中学校 2年
有馬 沙紀さん

北中学校生徒会副会長でバドミントン部キャプテン。唐古・鍵考古学ミュージアムの「ミュージアム部」でも活動するなど多方面で活躍中。いつも元気で弾けるような笑顔が印象的だった。将来の夢は小さいころからの憧れである警察官。

Q この町の好きなところは？



落ち着いた 雰囲気

道が基本的に平坦で、見通しがよく、移動しやすいところが大好きです。東京などの「ザ・都会」とは違う落ち着いた空気感も好き。田原本に帰ってくると「やっぱりここが一番」と安心します。

謎の安心感

町外に遊びに行くと帰ってくるとホッとする空気というか、あたたかさというか、謎の安心感があります。地域の人と触れ合える機会が多いのも、この町の良さであり、好きな部分です。



やっぱり ぎおん祭！

ぎおん祭のすごい熱気や、駅前広場にキッチンカーや屋台が出て賑わっている雰囲気が大好きです。田んぼや緑が広がる、のどかで自然豊かな景色にも癒やされています。

「おはよう」 が返ってくる

登校中に地域の方へ「おはようございます」と声をかけると、必ず挨拶を返してくれます。県外から田原本に帰ってきたとき、見慣れた景色に「あ、帰ってきたな」とホッとします。そんな温かい安心感が大好きです。



現在の田原本町は、昭和31年9月30日に多村・川東村・平野村・都村・旧田原本町の5町村が合併して誕生し、今年合併70周年を迎えました。住民の皆さんに改めて田原本町の愛着を深めていただけるよう、町に縁のある人々に町の魅力や地域への想いを語っていただく連続特集をお届けしています。5回目となる今回は、次世代を担う中高生にお話を伺いました。

Q 明日から町長になったら何をする？



駅前開発・整備

田原本駅と西田原本駅の間の距離を地下道や線路で直結させて、雨に濡れずに行き来できるようにしたいです。さらに、みんなで集まってドリンクバーを楽しめるようなファミリーレストランや大きな商業施設も増やしたいです！

居場所づくり

みんなが個性を発揮できる場所として、カフェや防音室などのある新しい施設をつくりたいです。私自身は、大好きな駄菓子屋さんもつくりたいです。子どもから大人まで、いろいろな人が集まり、毎日通いたくなるような交流の場にしたいです。



部活動の環境改善

吹奏楽部では、古くなった楽器を先生たちに応急処置してもらいながら、修繕を重ねてなんとか練習しています。

また、壊れかけた扇風機なども修理して、部活動にもっと集中して楽しく取り組めるような環境をしっかりと整えられたらいいと思います。

FM まほろば ラジオ出演

若者が気軽に集まって楽しめる場所をつくりたいです。ゲームセンターやカラオケなど、若者が集まれる場所が限られているからです。

また、ラジオにも出演して、若者が集まれる場所や農業の面白さを、自分の言葉で直接リスナーに伝えてみたいです。



田原本の好きなところも、10年後に残したいものも、それぞれ。語られる言葉には、「この町が好き」という気持ちが込められていました。70年の歩みの先にある田原本の未来も、こうした一人ひとりの思いから育まれていきます。

Q 10年後も残っていてほしいものは？

思い出の場所

中学生にとって気軽に行けて、ホッとできる千代のファストフード店は、10年後も絶対に残っていてほしいです。友達と過ごした思い出が詰まった、なくてはならない青春の場所です。



憩いの場

駅前広場やともば！など、小さな子どもやペット連れの家族がのんびり楽しめる場所が残ってほしいです。道の駅のスイーツも含め、これからたくさんの人に愛されてほしいです。



磯城野高校

たくさんの農業の知恵を学び、直売所の社長という貴重な経験もさせてもらった母校・磯城野高校には、ずっと残っていてほしいです。

将来、町に戻ってきたときには恩返しをしたいと思います。



意見交換の場

住民協議会に参加して、いろんな年代の方とお話しました。同じ話題でも一人ひとり意見が違ふことが勉強になりました。10年後も、みんなで意見を交わせる場が残っていてほしいです。

